

【施設状況】

グループ名称	若穂多目的広場										
指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会					法人番号	1100005000034				
所管課	主	151000	スポーツ課	副							
構成施設	99999	若穂多目的広場									
施設分類	03	施設貸出2型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制	
施設概要	多目的広場(グライダー練習場)										
施設設置目的	グライダーの運航及び各種行事の用に供し、航空スポーツの育成及び市民の文化の交流に資するために設置する。										
基本方針等	若穂多目的広場は、長野市内で唯一の航空スポーツに対応した運動広場であり、専門的な知識と技術を持ったスタッフの運営により、幅広い年齢層の人々に航空スポーツを楽しんでもらい、裾野を広げていくことを目指している。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グライダー操縦訓練</li> <li>・施設の貸出し</li> <li>・各種イベントの開催</li> </ul>										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会			当該指定管理者の 指定回数	5 回	
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理 者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)	指定管理者の航空法に対する認識不足により、事故発生時における国への報告が遅れた。				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年比	評価
		グライダー訓練	人	1,197	1,608	1,191	1,619	136%	3
		グライダー教室	人	83	0	0	74	#DIV/0!	
		その他訓練等	人	1,366	644	2,048	1,450	71%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) その他訓練等の使用人数は、県警白バイ隊、警ら隊、高速機動隊、消防航空隊等訓練、企業による車両テスト、撮影などによる。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用の許可に関する業務</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・施設の使用許可の取消しに関する業務</li> <li>・市が必要と認める業務</li> </ul>							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民向け体験飛行</li> </ul>							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		年間を通じて除草、グランドおよび周辺整備、地元住民との懇親							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
	(2) 調査、会議等の内容	現場での聞き取り等によって把握している。		
	(3) 調査、会議等の結果	聞き取りの結果、特に要望なし		
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	整備が行き届いていて使いやすい。		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項	舗装路面のひび割れ、排水不良		
	<<対応措置>>	ひび割れ等について、溝の広がりや伸展を防ぐため、除草対応を行った。		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和4年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		3
	指定管理料		指定管理料		雑(納付金)		雑(納付金)		
支出	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		3
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
計	その他収入		その他収入		その他		その他		3
	計	0	計	0	計	0	計	0	
収入	人件費		人件費		指定管理料		指定管理料		3
	設備管理費	400,000	設備管理費	624,000	委託料		委託料		
支出	備品購入費		備品購入費		需用費		需用費		3
	修繕費		修繕費		役務費		役務費		
計	光熱水費		光熱水費		使用料・賃借料	100,000	使用料・賃借料	100,000	3
	事業費		事業費		修繕費		修繕費		
計	事務経費		事務経費		工事請負費		工事請負費		3
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
計	その他		その他		その他		その他		3
	計	400,000	計	624,000	計	100,000	計	100,000	
自主事業	収入		収入						3
支出			支出						
自主事業損益	0	自主事業損益	0						3
損益	-400,000	損益	-624,000	差引	-100,000	差引	-100,000		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和4年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								0.0%	3
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 事務局長1人、会計1人、運営委員4人 (6) 総数:6人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☑	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☑	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☑	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☑	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☑	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する農地の土地所有者との親交もあり、連携して諸問題の解決に取り組んでいる。</li> <li>グライダー運搬用トレーラー約20台の保管場所として、近隣の土地所有者の協力を得ている。</li> <li>当施設を利用する際の、宿泊施設及び消耗品等の調達は地元業者を積極的に利用している。</li> <li>地域住民と一緒にグライダー場周辺の草刈りを行うなど、積極的に地域連携に取り組んでいる。</li> </ul>		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	2	4	合計得点  <b>60</b>	<p>指定管理者の健全性 4 3 2 1 0</p> <p>施設の有効活用 3</p> <p>利用者評価 3</p> <p>事業収支 3</p> <p>管理運営全般 3</p> <p>危機管理体制 3</p> <p>地域連携 4</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12		
利用者評価	3	6		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	4	8		
評価理由	<p>・「指定管理者の健全性」については、国への報告が必要な事故が発生した際に、指定管理者の航空法に対する認識不足により、報告が遅れたため、評価を「2」とした。</p>			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故発生時の対応について、指定管理者と再度確認し、適切に実施する。</li> <li>安全対策及び施設の維持管理の徹底を図る。</li> <li>グライダーでの利用以外にも、施設の目的に合った利用要望が申請された場合は積極的に受入れ、施設の有効利用を促進する。</li> <li>安全対策を徹底したうえで一般市民向けに飛行体験を行い、スカイスポーツへの理解を深める。</li> </ul>			

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・除草の徹底、排水不良個所の地盤改善等により、安全な利用につとめた。

② 業務の効率化に対する取組み

・乗用大型、中型除草機を5台活用し、安全のため周辺のブッシュを刈り取った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

**B**

① 評価理由

・徹底した除草、グランド整備、市民活用、県警等公共事業に協力するなど、有効に活用できた。  
 ・自主事業であるグライダー教室について、実施することができた。

② 次年度以降の取組み

・グライダー教室の参加人数の増加を図るとともに、競技人口の拡大を目指す。  
 ・中高生を対象に、夏休み期間中の特別授業を実施する。